

請願第2号

件名 安全で教育的意義のある万博子ども招待事業を求める請願

請願者



紹介議員 羽曳野市議会議員 笹井喜世子 渡辺真千

### 【請願趣旨】

本請願は、2025年大阪・関西万博の開催について、賛成するものでも、反対するものでもなく、万博子ども招待事業に参加する学校行事が、安全はもとより、真に教育的意義のあるものとなるよう求めるものです。

府は、府内の小・中学生及び高校生に対し、学校単位で万博へ無料で招待する万博子ども招待事業を実施しており、この事業に参加する学校は、遠足等の校外学習として万博に行くと思われます。

万博子ども招待事業については、何十年に一度のせっかくの機会だからこそ、万博を子どもたちに見せてあげたいという考えや、万博を見たいという子どもの声、家庭では連れて行くことができないため学校で連れて行って欲しいという保護者の声も聞かれます。

また、引率する教職員にも、校外学習として万博に行くのであれば、児童や生徒にとって本当に教育的意義のあるものになりたいという思いが強くあります。

私たちは、学校の遠足を児童や生徒の人間関係や居場所の構築において、大変重要な機会と捉えています。そのため、遠足として万博に行くのであれば、児童や生徒が社会に興味や関心を持つ機会であることはもちろんのこと、一人ではできないような体験をする機会として活かしたいと考えています。

しかし、現状では、各校がどのパビリオンを観覧できるのか、また、各パビリオンの詳細がわからないため、事前学習や当日の活動に向けた計画が立てられず、本当に教育的意義のあるものにできるか不安を感じています。

また、爆発事故や災害時の避難経路、熱中症などへの不安が報じられ、会場内外で大変な混雑も予想されます。同じ日や同じ時間帯に他校がどれほどの人数で参加するのか、児童や生徒が公共交通機関を利用して時間通りに集合し、無事に行き帰りできるのか、食事をする時間と場所が十分に確保されているのかといった、児童や生徒を安全に引率するための情報も不足しています。

とりわけ、個別のニーズや配慮が必要な児童や生徒がいる学校では、複数人による事前の多様な確認は必須です。

については、下記のとおり請願します。

### 記

### 【請願項目】

- 1 府からのパビリオンや会場内設備についての情報を市として教職員及び児童、生徒に周知すること。

- 2 各校の実情に応じて、必要かつ十分な教職員数で希望する時期に下見が出来るように市として配慮すること。学校単位ではなく、学年単位で参加を希望できるようにすること。
- 3 下見をした学校が万博へ引率できないと最終的に判断した場合にも、学校や教職員が下見の費用を負担することのないようにすること。また、遠足の交通費の負担が保護者に重くならないように配慮すること。
- 4 児童、生徒が集合したり休憩するための場所及び時間を各校が調整できるように、2025年日本国際博覧会協会と連携して、同じ日における他校の参加人数など、当日の情報を各校に提供するとともに、同時刻に集中しないように府や協会に働きかけること。
- 5 万博子ども招待事業に関する子どもたちや保護者の不安や疑問に対して、学校ごとの対応に加え、誰もが問い合わせできる窓口を設置し、これを周知すること。

令和6年11月22日

羽曳野市議会

議長 通堂 義弘 殿